			②運営費交付金の振替額の積算根拠 平成25年度末に計上された「たな卸資産」及び平成25年度からの繰越金の費用振替に伴うもので、当該振替額の全額を収益化。
会計基準第81第３項による振替額		―	
合　　計		70,957,660	

④　平成26年度交付分

［単位：円］

区　　分		金　　額	内　　訳
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	1,536,848,337	①業務に係る損益等 ア）損益計算書に計上した費用の額：2,156,407,446 （役職員人件費：1,481,734,637、消耗品費：73,117,120、備品費：15,726,056、保守・修繕費：158,356,939、水道光熱費：135,754,517、その他経費：291,718,177） イ）自己収入に係る収益計上額：533,100,927 （授業料等収入：521,395,750、その他事業収入：11,705,177） ウ）資産の取得額：19,382,448 （建物：1,181,520、工具器具備品：18,030,763、特許権仮勘定：170,165） エ）受託収入等を財源として支出した費用：86,458,182 （受託収入等を財源として支出した費用（資産取得価格を除く）：84,770,739、事業収入を財源として支出した費用：917,727、雑益を財源として支出した費用：769,716） ②運営費交付金の振替額の積算根拠 ア）費用－エ）受託収入等を財源として支出した費用－イ）自己収入 （費用2,156,407,446－受託収入等を財源として支出した費用86,458,182－自己収入533,100,927＝1,536,848,337）
	資産見返運営費交付金	19,382,448	
	資本剰余金	―	
	計	1,556,230,785	
会計基準第81第３項による振替額		―	
合　　計		1,556,230,785	

⑶　運営費交付金債務残高の明細

※　本校は、全ての業務において費用進行基準を採用しているため、成果進行基準を採用した業務に係る分及び期間進行基準を採用した業務に係る分については表示しておりません。

［単位：円］

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	29,854,664	○運営費交付金債務残高は、期を跨いだ物品等の契約済繰越等により、翌事業年度に繰り越したものである。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、当中期目標期間最終年度に収益化する予定である。
平成24年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	20,478,120	○運営費交付金債務残高は、期を跨いだ物品等の契約済繰越等により、翌事業年度に繰り越したものである。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、当中期目標期間最終年度に収益化する予定である。
平成25年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	165,505,125	○運営費交付金債務残高は、期を跨いだ物品等の契約済繰越等により、翌事業年度に繰り越したものである。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、27事業年度において収益化する予定である。
平成26年度	費用進行基準を採用した業務に係る分	203,883,215	○運営費交付金債務残高は、期を跨いだ物品等の契約済繰越等により、翌事業年度に繰り越したものである。 ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、翌事業年度において収益化する予定である。